

<国語科 第1学年 内容のまとまりごとの評価規準について>

1. 朝のリレー（4月）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。 →速さ、声の強弱、間の取り方、言葉の調子、声の高さを工夫しながら音読している。		・音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。
・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・テスト		・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・振り返り

2. 野原はうたう（4月）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。 →速さ、声の強弱、間の取り方、言葉の調子、声の高さを工夫している。 →情景や心情を表す表現に応じて、音読のしかたを工夫している。		・音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。
・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・テスト		・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・振り返り

3. 声を届ける/書き留める/言葉を調べる/続けてみよう（4月）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。 →聞き手を意識して速さ、声の強弱、間の取り方、言葉の調子、声の高さを工夫している。 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 →線や矢印で情報を整理している。 ・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つこと	・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 →日常生活やこれまでに読んだ本の中から題材を決め、情報を整理して「言葉の手帳」に書き込んでいる。	・音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして声を届けようとしている。 ・進んで日常生活の中から題材を決め、これまでの学習を生かして言葉の手帳を作ろうとしている。

を理解している。 →これまでに読んだ本などを基に、印象に残った言葉を書き留めている。		
・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・テスト	・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等）	・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・振り返り

4. はじまりの風（5月）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 →登場人物の心情や行動を表す言葉に着目して作品を読み進めている。	・「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。 →場面ごとに会話や描写を整理して、登場人物の心情や関係の変化を捉えている。	・場面の展開について、描写を基に積極的に捉え、学習課題に沿って感想を交流しようとしている。
・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・テスト	・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・テスト	・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・振り返り

5. 「聞く」情報を聞き取り、要点を伝える（5月）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている →5W1H に注意して、キーワードとなる言葉を書き留め、番号や記号を用いて整理している。	・「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 →日常の話題について、情報を整理し、聞き取る内容を考えている。 ・「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめている。 →情報を的確に聞き取り、要点を押さえてメモしている。	・進んで記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、学習課題に沿ってメモを取ろうとしている。
・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・テスト	・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等）	・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・振り返り

6. 話の構成を工夫しよう（5月）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。 →声の大きさ、話す速さ、間の取り方などに注意しながらスピーチをしている。	・「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 →聞き手を意識して話題を決め、話の内容を選んで整理している。 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている。 →聞き手を想定し、伝えたいことが明確になるように、構成を考え、話す順番を工夫している。	・話の構成を粘り強く考え、学習の見通しをもってスピーチをしようとしている。
・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・テスト	・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・テスト	・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・振り返り

7. ダイコンは大きな根？（6月）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。 →本文中で比較がどのように使われているかを理解している。	・「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。 →「問い」と「答え」から中心的な部分を捉え、筆者の主張を理解している。	・文章の中心的な部分と付加的な部分について積極的に捉え、学習課題に沿って筆者の工夫を伝え合おうとしている。
・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・テスト	・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・テスト	・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・振り返り

8. ちょっと立ち止まって（6月）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 →筆者の主張と事例との関係を理解している。	・「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。	・進んで要旨を把握し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。

	→序論・本論・結論の段落のまとまりに着目し、要旨を捉えている。	
・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・テスト	・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・テスト	・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・振り返り

9. 情報整理のレッスン 比較・分類（6月）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。 →情報の整理のしかたを理解し、情報を比較したり、分類したりしている。		・学習課題に沿って、積極的に情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使おうとしている。
・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・テスト		・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・振り返り

10. 情報を整理して説明しよう（6月）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。 →集めた情報を、観点に沿って比較したり、共通点を見つけて分類したりして整理している。	・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 →目的や相手を意識して、情報を集めて整理し、問いを立てて考えたり、気づいたことを書きだしたりして、説明の文章の構成を考えている。	・集めた材料を粘り強く整理し、学習の見通しをもってわかりやすく説明しようとしている。
・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・テスト	・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等）	・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・振り返り

11. 空の詩（6月）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・事象や行為、心情を表す語句の量を増やすとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにしている。	・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。 →詩に描かれている情景を想像し、表現の効果を考えている。	・文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって詩を創作しようとしている。

→詩の中の語句の意味を捉えながら、語感を磨き、語彙を豊かにしている。 ・ 比喻、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。 →表現の技法を理解し、表現を工夫して詩を書いている。	・「書くこと」において、根拠を明確にししながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 →自分の思いが読み手に伝わるように、言葉や表現を工夫して詩を書いている。	
・ 授業の活動や発言 ・ 指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・ テスト	・ 授業の活動や発言 ・ 指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・ テスト	・ 授業の活動や発言 ・ 指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・ 振り返り

1 2. 比喻で広がる言葉の世界（6月）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 比喻などの表現の技法を理解し使っている。 →文中で使われている比喻の文脈上の意味を理解している。	・「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意味との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。 →各段落の役割を理解し、要旨を捉えている。	・ 進んで要旨を把握し、学習課題に沿って言葉について考えを深めようとしている。
・ 授業の活動や発言 ・ 指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・ テスト	・ 授業の活動や発言 ・ 指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・ テスト	・ 授業の活動や発言 ・ 指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・ 振り返り

1 3. 読書を楽しむ（7月）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。 →さまざまな読書の楽しみ方について理解し、読書が知識を得たり、新しいものの見方や考え方を知ったり、自分の考えを広げたりすることに役立っていることを理解している。		・ 読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを進んで理解し、今までの学習を生かして本の魅力や感想を伝え合おうとしている。
・ 授業の活動や発言 ・ 指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等）		・ 授業の活動や発言 ・ 指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・ 振り返り

1 4. 本の中の中学生（7月）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。 →読書が、知識を得たり、新しいものの見方や考え方を知ったり、自分の考えを広げたりすることに役立っていることを理解している。	・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものとしている。 →文章を読み、理解したことを基に、自分の考えを形成している。	・文章を読んで理解したことに基づいて、積極的に自分の考えを確かなものにし、学習課題に沿って本を読んで考えたことを伝え合おうとしている。
・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等）	・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等）	・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・振り返り

1 5. 大人になれなかった弟たちに…（9月）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。 →戦争中という時代背景や、その中で暮らす人々の生活苦を理解している。	・「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。 →描写に着目して、登場人物の行動や心情の変化を捉えている	・登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に積極的に捉え、学習の見通しをもって朗読しようとしている。
・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・テスト	・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・テスト	・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・振り返り

1 6. 星の花が降るころに（9月）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解している。 →様子や動きを何かにたとえた表現を探し、どのような情景や気持ちをたとえているのか考えている。	・「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈している。 →場面ごとの状況や、場面と人物などの描写を結び付けて、内容を読み深めている。	・進んで場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈し、学習の見通しをもって考えを伝え合おうとしている。
・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・テスト	・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・テスト	・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・振り返り

17. 項目を立てて書こう（9月）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。 →情報を項目ごとに整理することを理解し、案内文の作成に生かしている。	・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 →伝えたい事柄・相手に応じて、必要な情報が明確に伝わるように、項目ごとに整理して案内文を書いている。	・集めた材料を積極的に整理し、学習課題に沿って案内文を書こうとしている。
・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・テスト	・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等）	・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・振り返り

18. [推敲] 読み手の立場に立つ（9月）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 →正確でわかりやすい表現に書き改めている。	・「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述のしかたなどを確かめて、文章を整えている。 →読み手の立場に立って、誤記はないか、表現は適切か、伝える情報が正確にわかりやすく書けているかなどを検討している。	・粘り強く文章を整え、学習課題に沿って案内文を推敲しようとしている。
・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・テスト	・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等）	・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・振り返り

19. 聞き上手になろう（9月）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。 →話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方などに注意しながらスピーチをしている	・「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめている。 →話し手のスピーチに耳を傾け、聞いたことを基に、質問のしかたを工夫して聞き、対話をしながら話を十分に理解しようとしている。	・進んで記録したり質問したりしながら、話の内容を捉え、今までの学習を生かして話を引き出そうとしている。

・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・テスト	・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等）	・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・振り返り
---	---	--

20. 「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ（10月）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 →筆者がどのような事実を基にどのような仮説を立てたかについて、理解している。	・「読むこと」において、文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えている。 →筆者の意見と、それを支える根拠との関係を考えている。	・文章の構成や展開を粘り強く考え、学習の見通しをもって考えたことを文章にまとめようとしている。
・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・テスト	・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・テスト	・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・振り返り

21. 思考のレッスン1 意見と根拠（10月）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 →説得力のある根拠や、意見と根拠の結び付きについて理解している。		・学習課題に沿って、積極的に意見と根拠の関係について理解しようとしている。
・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・テスト		・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・振り返り

22. 根拠を明確にして書こう（10月）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 →情報を整理し、自分の考えを裏づける資料やデータを選び、出典の示し方に気をつけながら引用している。	・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。 →自分の考えに説得力をもたせるようなレポートの構成を考えている。 ・「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 →自分の考えを裏づける資料やデー	・文章の構成や展開を粘り強く考え、学習の見通しをもってレポートを作成しようとしている。

	タを選び、アンケートで得られた情報を適切に関連づけて、考察を導き出している。	
・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・テスト	・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等）	・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・振り返り

2 3. いろは歌、蓬萊の玉の枝ー「竹取物語」から（1 1 月）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。 →音読に必要な文語のきまり、古文特有のリズムについて理解し、その世界に親しんでいる。	・「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。 →「蓬萊の玉の枝」に登場する人々の関係や思いに着目して読み、現代の自分たちと比べ、古典の世界と現代の人々に共通する部分を考えている。	・進んで古文を音読し、学習課題に沿って描かれている古典の世界を想像しようとしている。
・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・テスト	・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・テスト	・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・振り返り

2 4. 今に生きる言葉（1 1 月）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。 →音読に必要な文語のきまり、漢文特有のリズムや言い回しなどについて理解している。	・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。 →「矛盾」や、「推敲」「蛇足」「四面楚歌」の基になった故事を調べ、どんな意味に使われるようになったか説明している。 ・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。 →「矛盾」と自分の体験とを重ねて、書く内容の中心が明確になるように文章の展開や構成を考えている。	・積極的に漢文を音読し、今までの学習を生かして故事成語を使った文章を書こうとしている。
・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等）	・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等）	・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等）

ト、作品等) ・テスト	ポート、作品等) ・テスト	ート、作品等) ・振り返り
----------------	------------------	------------------

25. 「不便」の価値を見つめ直す（12月）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 →意見と根拠の関係に着目して、必要な情報を取り出し、整理している。 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 →要約するための情報の整理のしかたを理解し、自分の考えをまとめるときに要約や引用を明確に示している。	・「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈している。 →目的に沿って必要な情報を結び付け、要約している。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。 →賛成か反対か、立場を明確にして、筆者の主張に対する自分の考えをまとめている。 ・「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 →立場を明確にして、自分の考えの根拠となる事例を挙げながら、意見をまとめて書いている。	・積極的に必要な情報に着目して要約し、自分の考えを文章にまとめようとしている。
・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・テスト	・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・テスト	・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・振り返り

26. 思考のレッスン2 原因と結果（12月）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 →原因と結果がどうつながっているか整理し、二つの関係について理解している。		・今までの学習を生かして、積極的に原因と結果の関係について理解しようとしている。 ・
・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・テスト		・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・振り返り

27. 話題や展開を捉えて話し合おう（12月）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 →自分の考えをまとめる際に、意見に対する根拠を考えている。	「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。 →話し合いの話題や展開を捉え、互いの発言を結び付けながら考えをまとめている。	積極的に互いの発言を結び付けて考えをまとめ、学習の見通しをもってグループ・ディスカッションをしようとしている。
- 授業の活動や発言 - 指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） - テスト	- 授業の活動や発言 - 指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等）	- 授業の活動や発言 - 指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） - 振り返り

28. 本の世界を広げよう（12月）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。 →読書の意義（＝読書が知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つこと）を理解している。		読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを積極的に理解し、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。
- 授業の活動や発言 - 指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等）		- 授業の活動や発言 - 指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） - 振り返り

29. 少年の日の思い出（1月）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 →場面描写の言葉や登場人物の心情を表す言葉に着目している。	「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。 →時間・場所・出来事・語り手に着目して作品の構成や展開を捉えたり、具体的な表現を挙げてその効果について自分の考えをまとめたりしている。 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。 →登場人物の考え方や感じ方について	文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって別の人物の視点から文章を書き換えようとしている。

	て、自分の考えをもっている。 ・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。 →別の人物を選び、その人物の心情や行動が明確になるように構成や展開を工夫して書いている。	
・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・テスト	・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・テスト	・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・振り返り

30. 二十歳になった日（1月）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 →「空の描写」や「父親とのやりとり」がどのように表現されているかを理解している。	・「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈している。 →場面の展開や描写に着目しながら、筆者の「空」についての思いや「父親」への思いを捉えている。	・進んで場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈し、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。
・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・テスト	・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・テスト	・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・振り返り

31. 構成や描写を工夫して書こう（2月）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 →体験や思いを伝えるために、情景や心情を表す言葉を適切に選んで使っている。	・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。 →読み手に状況がイメージできるように、書く内容の中心が伝わるように、構成を工夫している。 ・「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 →書きだしや結び、出来事を、言葉を吟味し、描写を工夫して書いている。	・粘り強く文章の構成や展開を考え、学習の見通しをもって随筆を書こうとしている。

	る。	
・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・テスト	・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等）	・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・振り返り

3 2. 一年間の学びを振り返ろう（3月）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。 →声の大きさ、話す速さ、間の取り方などに注意しながら発表をしている。 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 →情報の整理のしかたを理解して、要点をフリップにまとめる方法を理解している。	・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。 →聞き手や場に応じて、発表の言葉や表現を変えるなどの工夫をしている。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 →「観点」に見合った情報を集め整理し、内容が伝わる端的な言葉をフリップに書いている。	・集めた材料を積極的に整理し、今までの学習を生かして要点をフリップにまとめ、発表しようとしている。
・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・テスト	・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等）	・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・振り返り

3 3. ぼくがここに（3月）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。 →詩に用いられている表現の技法を理解し使っている。	・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしている。 →詩の解釈を通して理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしている。	・文章を読んで理解したことに基づいて、積極的に自分の考えを確かなものにし、考えたことを伝え合おうとしている。
・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・テスト	・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・テスト	・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・振り返り

書写

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書いている。 ・漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書いている。		
・授業の活動や発言 ・書写作品		